

2019年度事業実績について

1 概要

2019年度の後援会は、過去最高となる会員数6,497名、会費収入26,236,000円となり、大分フットボールクラブ(以下大分FCという)に対し、昨年度より約360万円多い18,365,200円の財政支援を行いました。6年ぶりとなるJ1の舞台で、開幕戦での勝利に勢いづき、前半戦を上位の成績で折り返すことができ、後半戦も最後まで粘り強い戦いを繰り広げていたことから、非常に多くの方に後援会に入会いただき、会費収入そしてチームへの支援を確保することができました。

2 総会・理事会等開催状況

後援会の事業計画の決定や、事業実績・決算報告等のため、理事会・総会を開催しました。

2019年度 第1回理事会	総会議案の決定
2019年度 総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案の決定
2019年度 第2回理事会	後援会DAYについて、経過報告

3 後援会支部活動について

新規支部では新たにオーシーグループ支部が発足しました。各支部毎に会員の募集に協力いただき、バスツアーや観戦会の実施ができました。

(ホームゲーム・アウェイゲームバスツアー※助成金以外も含む)

佐伯支部	3月2日、3月17日、5月14日、5月26日、6月30日、8月10日、 8月17日、11月10日
玖珠九重支部	8月10日(神戸戦)
津久見支部	8月4日(鳥栖戦・アウェイ)
2011支部	8月17日(鹿島戦)
大分県信用組合支部	5月25日(川崎戦)、8月10日(神戸戦)
新別府病院支部	8月17日(鹿島戦)

(後援会DAY(12月7日))

佐伯支部、玖珠九重支部、津久見支部

(支部イベント・その他イベント)

県議会トリニータを応援する議員連盟 福本会長講演	7月19日
津久見支部 津久見夜会パブリックビューイング	7月27日

4 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月20日	佐伯支部選手激励会	刀根選手、岩田選手
2月11日	監督・選手激励会	片野坂監督、全選手
7月21日	佐伯支部後援会の集い	藤本選手、前田選手
8月19日	中津市役所支部後援会の集い	後藤選手、高畑選手
12月7日	後援会DAY(サイン会)	高山選手、前田選手、星選手、伊藤選手

5 その他の主な後援会PR活動、イベント

ダイハツ九州他スポンサー企業イベント、大分市中央通り歩行者天国、長浜祭り等で後援会のPR活動を行ってきました。

6月8日	大分市中央通り歩行者天国
7月6日・7日	長浜祭り
8月29日	ダイハツ九州祭り

6 後援会入会推進活動

- ・2019年監督・選手激励会やホームゲームでの「後援会DAY」の開催
- ・スタジアムでの入会促進チラシの配布ならびにブースでの入会事務
- ・新規・増口キャンペーンによる入会・増口の促進
- ・観戦会等イベント参加増加によるトリニータファン拡大施策の実施

(総括)

2019シーズンは、昨年に引き続きホームゲーム開催時には、受付ブースを北に設置し入会・増口の受付を行いました。シーズンパスとの同時入会やWEB決裁等も引き続き行い、昨年を超える会員数・入会口数を確保することができました。

また、ワンタッチパスと連動したマッチデーポストカードの配布など、既存の会員が来場するだけでプラスアルファの特典が付与されるよう、各会員の来場を促す施策も実施しました。

また、後援会DAYを残留が既に決定した12月7日のホームゲーム最終戦に行ったことで、後援会活動や新規入会のPRを行うことができ、当日入会特典や受付窓口を3か所に増設したこと等もあり当日だけで2020年度会員として840人、3,484口もの入会を得ることができました。

今後は、新たな会員獲得のため、入会特典の見直しや大分FCと連携したイベントの開催、支部会員の積極的な活動促進に取り組む必要があります。

引き続き、大分トリニータのJ1定着を後押しするため、引き続き財政支援にしっかり取り組むとともに、後援会員の輪を広げ試合会場への来場者を増やし、声援で後押しをしていくための取組を行っていく必要があります。